

科目名		中国語I(Chinese I)							
学年	学科(コース)	単位数		必修/選択	授業形態	開講時期	総時間数		
第4学年	機械工学科 電気工学科 制御情報工学科 物質工学科	学修	2単位	必修	講義	通年 100分/週	90時間		
担当教員		【非常勤】加瀬 ウララ (【副担当】畑村 学)							
学習到達目標									
科目の到達目標レベル	(1)ピンインと基本単語の読み書き、聞き取りをできるようになること。 (2)初級文法事項を理解すること。 (3)簡単なことを中国語で表現できるように努力すること。 (4)中国のことに興味を持ち、楽しく学ぶこと。								
学習・教育目標	(G)②	JABEE基準1(2)		(f)					
関連科目, 教科書および補助教材									
関連科目									
教科書	「中国語よ〜いドン!」(同学社)								
補助教材等									
達成度評価(%)									
評価方法 指標と評価割合	中間試験	期末・学年末試験	小テスト	レポート	口頭発表	成果品	ポートフォリオ	その他	合計
	30	40		10	13	7			100
知識の基本的な理解 【知識・記憶、理解レベル】	◎	◎		○	○	○			
思考・推論・創造への適用力 【適用、分析レベル】	○	○		○	○				
汎用的技能 【コミュニケーションスキル】					○				
態度・志向性(人間力) 【 】									
総合的な学習経験と創造的思考力 【 】									
学習上の留意点および学習上の助言									
<p>中国語を学ぶためには、最初に漢字の読み方を表す記号“ピンイン”を覚えることから入り、次に、簡単な会話練習を通して中国語の文法の基礎を学ぶ。中国語の発音には日本語にない“4声”という四つの声調変化があるので、しっかり身に付けるには時間がかかる。授業では積極的に発音練習に参加し、また予習や復習では教科書にあるCDを活用して、聞き取り、発音練習を必ず行ってほしい。中国語を正しく発音できるためには、カタカナのようなふりがなを絶対に使用しないことに注意してほしい。中国語の発音記号“ピンイン”を使う努力をしてほしい。初めて中国語を学習するこの1年で、話して通じる中国語を身につけ、コミュニケーションをとる自信につなげてほしいと願う。</p>									

授業の明細

回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	シラバスの説明 発音編0~2	・授業の進め方、評価方法を理解できる。 ・声調のことを理解する。 ・単母音と子音の発音がまねできる。	[CD1~11]を繰り返し聞いて、発音練習をする。
2	発音編3~5	・二重母音、三重母音、鼻母音、軽声の発音がまねできる。 ・声調符号の付け方を理解する。	[CD12~18]を繰り返し聞いて、発音練習をする。 CD16~18の漢字とピンインを書き写す。
3	発音編6~8	・“第3声”“不”と“一”の声調変化を理解する。 ・“儿化”の発音はまねできる。	[CD19~20]を繰り返し聞いて、発音練習をする。 CD20の所を書き写す。
4	発音編総チェック 教室用語	・ピンインを聞き分けられる、正しく発音することができる。 ・簡単な教室用語を聞きとれる。	予習として第1課の新しい単語を書き写す。(中国語の漢字とピンインは3回)P16~17頁を読む。
5	第1課 文法と表現のポイント	・第1課の文法事項を理解できる。	今回の内容を復習し、音読する。予習として第1課の本文を書き写して、日本語に訳す。
6	第1課 本文	・本文の内容を理解できる。	本文の聞き取り、音読と暗唱の練習をする。本文をまねして、自分の自己紹介を書く。
7	第1課 復習と演習	・本文を応用して、中国語で簡単な自己紹介ができる。	予習として第2課の新しい単語を書き写す。(中国語の漢字とピンインは3回)P22~23頁を読む。
8	第2課 文法と表現のポイント	・第2課の文法事項を理解できる。	これまでの内容を復習する。
9	中間試験		
10	試験返却・解答解説 第2課 本文	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・本文の内容を理解できる。	本文を書き写し、日本語に訳す。本文の聞き取り、音読と暗唱の練習をする。
11	第2課 復習と演習	・本文を応用して、中国語で簡単な会話ができる。	予習として第3課の新しい単語を書き写す。(漢字とピンインは3回)P16~17頁を読む。
12	第3課 文法と表現のポイント	・第3課の文法事項を理解できる。	今回の内容を復習し、音読する。予習として第3課の本文を書き写して、日本語に訳す。
13	第3課 本文	・本文の内容を理解できる。	本文の聞き取り、音読と暗唱の練習をする。
14	第3課 復習と演習	・本文を応用して、中国語で簡単な会話ができる。	これまでの内容の復習。
	期末試験		
15	試験返却・解答解説 まとめ	試験解説により、間違った箇所を理解する。 前期の学習事項のまとめを行う。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	第4課 文法と表現のポイント	・第4課の文法事項を理解できる。	今回の内容を復習し、音読する。第4課の新しい単語と本文を書き写して、日本語に訳す。
17	第4課 本文	・本文の内容を理解できる。	本文の聞き取り、音読と暗唱の練習をする。
18	第4課 復習と演習	・本文を応用して、中国語で簡単な会話ができる。	予習として第5課の新しい単語を書き写す。(漢字とピンインは3回)
19	第5課 文法と表現のポイント	・第5課の文法事項を理解できる。	今回の内容を復習し、音読する。予習として第5課の本文を書き写して、日本語に訳す。
20	第5課 本文	・本文の内容を理解できる。	本文の聞き取り、音読と暗唱の練習をする。
21	第5課 復習と演習	・本文を応用して、中国語で簡単な会話ができる。	予習として第6課の新しい単語を書き写す。(漢字とピンインは3回)
22	第6課 文法と表現のポイント	・第6課の文法事項を理解できる。	今回の内容を復習し、音読する。予習として第6課の本文を書き写して、日本語に訳す。
23	第6課 本文	・本文の内容を理解できる。	本文の聞き取り、音読と暗唱の練習をする。これまでの復習をする。
24	中 間 試 験		
25	試験返却・解答解説 第6課 復習と演習	・試験問題の解説を通じて間違った箇所を理解できる。 ・本文を応用して、中国語で簡単な会話ができる。	予習として第7課の新しい語を書き写す。(漢字とピンインは3回)
26	第7課 文法と表現のポイント	・第7課の文法事項を理解できる。	今回の内容を復習し、音読する。予習として第7課の本文を書き写して、日本語に訳す。
27	第7課 本文	・本文の内容を理解できる。	本文の聞き取り、音読と暗唱の練習をする。
28	第7課 復習と演習	・本文を応用して、中国語で簡単な会話ができる。	これまでの復習。
29	まとめ	これまでの内容を理解できる。	これまでの復習。
期 末 試 験			
30	試験返却・解答解説 まとめ 授業改善アンケートの実施	試験解説により、間違った箇所を理解する。	
総 学 習 時 間 数			90時間
講 義			60時間
自学自習			30時間